

開講年度	2015
科目コード	D1040
科目名	土質力学2(再履修用)
科目名(英字)	Soil Mechanics 2
開講所屬	3AD 必修2単位
開講期	後期 火曜日 5時限
担当教員	教授 成田 国朝
メールアドレス	成田 国朝 k-narita@aitech.ac.jp
研究室・オフィスアワー	成田 国朝 2号館5階508号室(地盤研究室)

18

概要	前期開講「土質力学2」において、出席・レポート等の条件を満たし、授業を真面目に受けたが、成績不振で不合格になったF評価の学生に対し、演習を主体とした補講と理解度チェック(毎回の小テストと2回の試験、不振の場合は再試験)を実施して学力を再評価し、単位を認定する。補講の対象範囲は前期授業と同じであるが、既に一通りの講義を聴講しているため、講義より計算演習に重点を置いて授業を進める。
計画	1回 応力・圧力の概念(力学の復習) 2回 安全率の概念(安定問題の復習) 3回 土かぶり圧計算(全応力・有効応力・水圧の復習) 4回 土の強さ(強度定数と破壊規準式の復習) 5回 モールの応力円(応力円表示の復習) 6回 三軸圧縮試験(試験法・概念の復習) 7回 ★試験1: 1~6週授業(土の強さ)に関する理解度チェック 8回 斜面解析の復習(簡便分割法) 9回 土圧の復習1(土圧の概念とランキン土圧の計算) 10回 土圧の復習2(クーロン土圧と擁壁の安定計算) 11回 支持力の復習(支持力公式と支持力計算) 12回 ★試験2: 8~11週授業(3つの斜面問題)に関する理解度チェック 13回 補講1: 試験1,2の合計評価が基準を満たさない場合、補講・再試験を追加実施 14回 補講2: 同上 15回 補講3: 同上
教科書	『土質力学ノート』地盤研究室編(栄進堂で販売)
参考書	
学習到達目標	>学習到達目標は前期授業「土質力学2」のシラバスと同じである。
方法と特徴	>教科書とプリントを用いて各週の授業項目を30分程度解説し、残り約60分を演習(小テスト)に充てて授業を進める。演習においては、100%正解解答を完成するまで、対面指導する。 >授業には、教科書・筆記用具・電卓・定規・コンパスを常に持参すること。
成績評価の方法	>成績は、授業中に行う小テスト及び2回の試験の総合点で評価する。全授業出席を単位認定の原則とする。(下記メッセージ参照)
教員からのメッセージ	>病気等でやむを得ず欠席する場合は、電話やe-mailあるいは友人に伝言を託すか、で事前に連絡すること。欠席した学生には別日(原則は翌日)の5限目等を利用して補講を行うので、研究室に出頭すること。無断欠席を放置した場合など、受講意志が薄弱な学生は履修放棄と見なす。 >各種の伝達事項の連絡(授業日の変更等)は、基本的には授業中に行うが、HPと土木の電子掲示板を使用することもある。 ●学習・教育到達目標との関係、及びその達成度評価は、前期授業のシラバスと同じである。

60

200

18

18

30

50

40

100